平成２５年
7月21日執行

参議院岡山県選挙区選出議員選挙公報

岡山県選挙
管理委員会

（この選挙公報は候補者から提出された原稿を写真印刷したものです。）

（両面をご覧ください。）

それでも私は岡山を愛している！

世界一住みやすい環境優先県の推進を軸に
岡山の産業を活性化！

日本を支える中小企業、そしてそこで働く方々の不安を取り除くため
実現するまで闘い続けます!!

mission 1 **「新しい岡山」の創造**
- ●中小企業活性化支援策の実現（安定した雇用の保障）
- ●教育の充実（35人学級の実現、豊かな学びの保障）
- ●特区制度等の活用による経済活性化（「水島コンビナート総合特区」等）
- ●過疎化、高齢化する中山間地域の活性化、農林水産業の振興
- ●世界最先端の環境先進都市へ（公共交通網の整備、バイオマスの推進）

mission 2 **将来安心の社会保障の実現**
- ●格差是正社会の実現（新自由主義、競争至上主義の廃止）
- ●公的年金制度の見直し（年金一元化、最低保障年金）
- ●持続可能な医療保険制度の確立
- ●400万人以上の雇用を創出
- ●待機児童の解消、学童保育の拡充

mission 3 **国のかたち（統治機構）の改革**
- ●国会改革・参議院改革（国会議員定数削減、参議院の権限を明確化）
- ●地域主権改革（地方自治体への権限委譲、地方交付税の増額）
- ●中央省庁改革（内閣による人事一元化、省庁一括採用の実施、歳入庁の創設）
- ●真の政治主導の実現（国会議員・民間人を100名以上政府へ）
- ●税金のムダ根絶（天下りの廃止・特殊法人の廃止、特別会計制度の改革）

mission 4 **IT（情報通信）による経済成長、産業構造・エネルギー政策の転換**
- ●IT（スマートグリッド）による脱原発依存社会の実現
- ●IT分野の規制改革の推進（医薬品のネット販売解禁等）
- ●ITによる農業振興、医療・介護・教育分野のIT利活用の推進
- ●ITによる行政情報公開の推進、電子政府・電子自治体の実現
- ●IT戦略の司令塔を内閣官房に（情報通信庁の設立）

無所属

高井たかし

43歳

元衆議院議員高井たかしが、今回無所属で立候補するのは、党派を超えてご支援をいただき、県民党で闘うためです。岡山生まれではない私には選挙に必要な地盤も看板もかばんも何一つありません。親戚も同級生もいません。お金もありません。そんな私を一番励まし応援してくれたのは岡山の皆さんでした。岡山出身者でないからこそ、各地を転々としてきた私だからこそ、岡山の素晴らしさを誰よりも感じています。政治家としての使命感に目覚めた愛する岡山を、誰もが安心して住める都市にするため、これからもあきらめずに闘い続けてまいります。一人ひとりの力は小さくとも、皆さんの力が一つになればこの選挙は必ず勝てます。高井たかしに力をください。どうぞ宜しくお願いします。

石井まさひろ 基本政策 5つのビジョン

権限
財源
自立する
元気な地方

❶産業を、熱く。
持続可能な産業構造をつくります。
景気回復のためのあらゆる努力を行います。また、成長につながる先端産業の集積、農林水産業などの基幹産業の活性化を図る一方、再生可能エネルギーの普及などを推し進めます。地方においては特に、新産業の育成による若者の雇用確保、中小企業への支援を重視します。

❹地方を、熱く。
地方分権改革を推進します。
日本の活性化のためには、地方の活性化が必要不可欠です。そのために地方分権改革を進め、自らの地域のことは自らが決めるシステムづくりを行います。そして、究極の地方分権の姿である道州制の実現を目指します。

❸安心社会を、熱く。
安全で安心な国づくりを実行します。
安全で安心な国づくりを目指し、南海トラフ巨大地震に備えた防災・減災対策の拡充強化を図ります。また、子育て支援、医療・保健・福祉の充実に取り組みます。

❷人を、熱く。
明日の日本を担える人づくりを行います。
いじめや不登校を解決するとともに、確実な学力の向上を図ります。日本の歴史や文化を大切にしながら、国際競争力のあるグローバルな人材を育て、スポーツの振興を図り、将来の日本を支える人づくりに取り組みます。

❺日本を、熱く。
未来へつなぐ国政改革を実現します。
産業政策、エネルギー政策、社会保障政策など国政の重要課題に取り組み、30年先を見通した日本の将来像を描き、その実現を図ります。外交については、諸外国との協調を基本に、領土問題については毅然とした態度を示します。

地方を、熱くする。

岡山県知事として4期16年間、財政の建て直しを行いながら、ひたすらに取り組んできたのは、岡山を元気にすることでした。人を元気にする、街を元気にする、産業を元気にする、ただそのことのために、一生懸命でした。

中央主導でしかできないことは、確かに多いと思います。しかし、中央からすべては変えられません。中央と地方は、まさにクルマの両輪のように双方が連携し合ってこそ、前へ進んでいけるのです。

地方を、熱くする。それが、私に与えられた使命です。地方行政を担ってきた経験を活かし、人が、街が、情熱で真っ赤になるくらいの元気を持てるよう、もう一度、私自身も熱くなって走り出します。

応援、よろしくお願いいたします。

石井正弘

プロフィール

昭和20年11月29日　岡山市生まれ
昭和44年　東京大学法学部卒業
　建設省（現・国土交通省）に入省、
　岐阜県児童家庭課長、建設大臣秘書官、
　文書課長、大臣官房審議官等を歴任
平成8年7月　建設省退職
平成8年11月　岡山県知事就任
　（平成12年、16年、20年再選）
平成24年11月　岡山県知事退任
　（4期16年）

自民党公認

石井まさひろ

あなたと一緒に国を変える。

比例は「幸福（こう ふく）」とお書きください

幸福実現党

挑戦（チャレンジ）1　消費税増税法中止に賛成!!
○震災後の痛み分け増税ではなく、税収を増やす方法はあるはずです。
○消費税増税では税収は増えません。
○みなさまの家計と、中小企業を守ります。

挑戦（チャレンジ）2　安心と安全は国防から!!
○自分の国は自分で守る!
○未来を担う子どもたちのためにも私たちを育んでくれた大切な美しい郷土を、諸外国の脅威から守ります!

挑戦（チャレンジ）3　守ろう子供の未来!!
○日本に、自信と誇りがもてる教育を実現します。
○国際的にも活躍できる人材をつくります。
○安心で信頼できる学校づくりを支援します。

そのえあれば憂いなし!

安原（やすはら）そのえは

3つの 消費増税中止! 国防強化! 復活、教育県岡山! 挑戦（チャレンジ）で

岡山から日本をもっと元気にします。

私たちも「安原そのえ」を推薦します

恵　隆之介（シンクタンク「沖縄・尖閣を守る実行委員会」代表）
推薦の言葉
沖縄県尖閣諸島は、既に中国公船の包囲下にあって一瞬の油断も許せません。憲法を改定し国防軍を創設すること、軍法を制定して国防軍指揮官の地位を国家が保証することこそが国土防衛の要諦です。

いざわ一明（一般財団法人「いじめから子供を守ろう！ネットワーク」代表）
鈴木真実哉（聖学院大学政治経済学部教授）
やない筆勝（幸福実現党党首）

安原そのえ プロフィール

やすはらそのえ、51才。血液型はB型で、夫・2人の娘・義理の母・愛犬・愛猫の7人家族です。座右の銘は「真実一路（いつわりない真心を持って一筋の道を歩んでいくこと）」で、人からバカ正直と言われますが……。尊敬する人はサッチャー元英首相、好きなアーティストはB'zです。趣味は剣道、読書、バイク。自分へのごほうびはスーパー銭湯での岩盤浴です（笑）。

幸福（こうふく）実現（じつげん）党（とう）

安原そのえ

暮らしを壊す安倍政権の暴走に立ち向かい、「国民が主人公」の新しい政治を

かきうち京美の提言

比例代表は **日本共産党** とお書きください

経済　**消費税増税を中止し、賃上げと安定雇用、中小企業支援など、国民の所得を増やして、本格的な景気回復をすすめます**

大企業の内部留保は260兆円。８割の大企業は、その１％を使うだけで月１万円の賃上げが可能です。人間らしく働けるルールを確立します。

富裕層や大企業への優遇税制を改革し、大型開発や軍事費、原発推進予算、政党助成金など、歳出の浪費にメスを入れ、医療・介護・年金など、社会保障を充実します。

憲法　安倍政権の改憲と対決し、96条の改定反対
憲法を守り、生かす政治をつくります

○９条を守ります―９条改定の狙いは「海外で戦争する国」にすることにあり、許しません。
○憲法の全条項を守り、民主的・平和的条項の全面実施を。

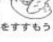
原発　**原発の再稼働と輸出を中止し、「即時ゼロ」の決断を―再生可能エネルギーに大胆に転換します**

外交　ＴＰＰ交渉参加の阻止、米軍の低空飛行反対
「アメリカいいなり」やめ、基地も安保もない日本をめざし、自主外交でアジアと世界の平和に貢献します

歴史問題　**侵略戦争、植民地支配を肯定・美化する歴史の改ざんと歴史への逆行を許しません**

尖閣諸島・竹島は日本の領土です。千島も含め領土問題は、歴史的事実と国際的道理に立って、外交交渉で解決をはかります。

党をつくって91年。
平和と民主主義を守って



自民党も民主党も維新の会、みんなの党も改憲を掲げ、海外で戦争する道をすすもうとしています。

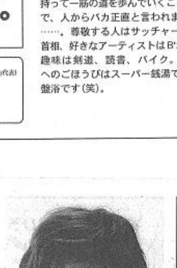
日本共産党は戦前から侵略戦争反対を貫いた政党です。平和・民主主義、暮らしを壊す逆流に、勇気をもって立ち向かっている政党です。しっかりした綱領をもち、どの分野でも改革の展望を示しています。一致する要求での共同を大切にし、国民と共に力を合わせて政治を変える政党です。

提言の詳細はホームページ 日本共産党 検索

安倍政権の危険な暴走は、ほころびと破たんも始まっています。「自共対決」こそ、参院選の真の対決軸です。「財界中心」「アメリカいいなり」「歴史逆行」―３つのゆがみを正します。

略歴

１９６６年、香川県生まれ。岡山大学法学部卒業。倉敷医療生協水島協同病院勤務、民青同盟県委員長、岡山民報記者を経て、現在、党准中央委員、党県女性部長。



私は、中学生と小学生の子どもの母親です。戦争へとつながるどんな動きにも反対です。祖父もフィリピンに出征して戦死し、遺骨も戻ってきませんでした。侵略戦争に命がけで反対を貫いた政党の一員として、憲法を守りぬきます。

また、私は青年運動に関わってきました。「雇用は正社員があたりまえ」、若者が安心して暮らせ、将来に希望が持てる社会をつくります。

かきうち京美（きょうみ）

日本共産党